

英語活動 第 [4] 学年 単元活動計画 【 In School 学校探検をしよう 】 全 4 時間計画

単元のねらい： 教室にあるものの名前や教科名、教室名の英語表現を知り、ゲームを通して表現に慣れ親しむことを通して、英語活動への関心を高める。
 [聞くこと] 外国語指導助手の自然な英語の音やリズムに注意を払って聞くことを通して、具体物や絵カードを指し示して応じようとする。
 [話すこと] 英語の音やリズムに注意しながら、教室や学校に関する表現を使って応じようとする。
 [自国や外国の文化への関心]
 自分の身近なものの英語表現を知ることを通して、英語への興味や関心をもとうとする。

時	1	2	3	4
ねらい	教室にあるものの表現を知り、教室に迷い込んだ蝶の居場所を捜し当てるゲームを通して、表現に慣れる。	前時に続いて、教室に迷い込んだ蝶の居場所を捜し当てる設定のゲームを二人一組で行うことを通して、表現に慣れ親しむ。	10 教科の英語表現を知り、友達好きな教科を調べるという設定で “Do you like ~ ? ” の表現を繰り返し使うことを通して表現に慣れ、友達との交流を楽しむ。	教室名の表現を知り、校内をお客様に紹介して歩くという設定で、既習表現を用いながら活動し、教室の名称に慣れる。
主な活動	“ Hot & Cold ” Game	“ Where is a butterfly? ” Game	“ Do you like School? ” BINGO	Let's Go to The School Tour!
言語材料	desk, chair, door, TV, blackboard , eraser, floor, mop, fan, broom, wall, window, switch, clock, curtain cabinet, cubby hole, computer, sharpener, teacher's desk	Where is a butterfly? on ~, in ~, under ~ 前時の教室にあるものの表現	Japanese, Social, Art, Mathematics, Science, P.E, Music, Morality Home Making, English 既習表現 Do you like ~ ? Yes. No, I don't. I like ~ .	Gym, Nurse's office, Teacher's room, Library, Music room, Science room, Kitchen, Rest room, Radio Studio, Print room 既習表現 go forward, turn ~, right, left
評価規準	[聞くこと] 具体物や絵カードを手がかりにしなが ら、外国語指導助手の英語の音やリ ズムに注意を払って聞こうとする。 [自国や外国の文化への関心] 聞き慣れたカタカナ英語をきっかけ にして、学校に関する表現への関心 をもって取り組もうとする。	[話すこと] 教室の様子を描いた学習シートを見 ながら、前時の活動を通して触れた教 室にあるものの表現を用いて、友達と 活動しようとする。	[聞くこと] 具体物や絵カードを手がかりにしな がら、外国語指導助手の英語の音やリ ズムに注意を払って聞こうとする。 [話すこと] 友達の好きな教科調べの活動を通し て、英語の音やリズムに注意して発話 しようとする。	[聞くこと] 実際に教室を訪れ、外国語指導助手 の簡単な英語の説明を聞くことを通し て、イメージを持って教室名の表現を 聞こうとする。 [話すこと] 実際に教室を訪れ、外国語指導助手 の簡単な英語の説明を聞くことを通し て、教室名や既習表現を発話しようと する。
指導上の留意点	学級担任が児童と共に活動すること を通して、機会をとらえて個別に対応 するようにする。	表現に自信のない児童は、3人以上 のグループ活動をするにより、聞く 機会を多くもてるようにする。 「on」「in」「under」の動作化を繰 り返し体験することを通して、イメ ジをとらえられるようにする。	表現に自信のない児童は、二人組に なるなどして、聞いて話す機会をもて るようにする。	教室の名称の表現を聞き取ることよ りも、外国語指導助手の簡単な英語を 用いたヒントを音やリズムに注意を払 って聞くように促す。

[Aim] 教室にあるものの表現を知り、教室に迷い込んだ蝶の居場所を捜し当てるゲームを通して、表現に慣れる。

[Preparation] 教室の絵 (提示用拡大版・児童用)、蝶のマグネット (グループ数)

主な学習活動	時間	指導上の留意点		評価項目
		H R T	A L T	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
<p>Main Activity 活動の実演を見て本時の活動を考え、教室にあるものの英語表現を知る。</p> <p>desk, chair, door TV, blackboard , eraser, floor, mop, fan, broom, wall, window, switch, clock, curtain cabinet, cubbyhole, computer, sharpener teacher's desk</p> <p>“ Hot & Cold ” Game の活動の仕方を知り、ゲームを通して表現を使って楽しむ。</p>	<p>35 (15)</p> <p>活動を提示する。</p> <p>A : Where is a butterfly? B : It's on the desk. A : It's on the desk. Thank you.</p> <p>表現と実物の一体化が図れるよう、教室の実物を指示するなどして、理解を促すようにする。</p> <p>児童とともに表現を聞いたり、発話したりする。</p> <p>(20)</p> <p>活動の仕方を提示する。</p> <p>B は教室を出て、その間に、A は蝶のマグネットを教室内に隠す。 A : Where is a butterfly? B は、教室内を歩いて蝶のマグネットを探す。 A : (near) Hot! (faraway) Cold! 発見したら、 B : It's on the blackboard.</p> <p>* 蝶に近づいたら「Hot」、遠い場合は「Cold」というヒントを出すことを活動の提示からとらえられるよう、繰り返し行うようにする。 * 発見者役 (児童の場合) は、「It's on the 」は省略可。 * 最初は、ALT と児童全体で活動し、表現に慣れてきたらグループで行い、2人組など少人数で活動することを通して表現の機会を多くもてるようにする。 * 蝶のマグネットの他、鳥やクモなども準備しておき、児童が意欲を持続して活動できるようにする。</p> <p>グループを指示し、実態に応じて、少人数に編成を変える。</p>	<p>活動を提示する。</p> <p>児童の様子に応じて、必要であれば、同じ提示を繰り返し行う。</p> <p>学級担任や児童の協力を受けながら、表現を紹介する。</p> <p>教室の絵を提示しながら、質問を受けたり、確認したりする。</p> <p>活動の仕方を提示する。</p>	<p>[聞くこと]</p> <p>教室の絵や具体物を手がかりにして、表現を聞いている。</p> <p>教室の絵や具体物を手がかりにして表現を聞きながら、積極的に指し示すなどして応じている。</p> <p>[自国や外国の文化への関心]</p> <p>" Hot & Cold " Game に楽しく取り組んでいる。</p> <p>活動を通して、" Hot " や " Cold " の表現の新たな発見をし、進んで活動している。</p>	
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALT と HRT がそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		

【 In School 】 第 2 時 / 4 週計画

[Aim] 前時に続いて、教室に迷い込んだ蝶の居場所を捜し当てる設定のゲームを二人一組で行うことを通して、表現に慣れ親しむ。

[Preparation] 教室の絵 (提示用拡大版・児童用)、蝶のマグネット (児童数の 1/2)

主な学習活動	時間	指導上の留意点		評価項目
		HRT	ALT	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity “ On,In,Under ” Game の活動の仕方を知り、ゲームを楽しむことを通して表現に慣れる。	35 (15)	ALT の説明に応じて、ハンドサインをまねる。 “ On,In,Under ” Game を実演する。(児童役)	「 On 」「 In 」「 Under 」のハンドサインを何気なく説明する。 “ On,In,Under ” Game を実演する。(指示役)	[話すこと] 教室にあるものの表現や “ On ” “ In ” “ Under ” の表現を使って、活動しようとしている。 教室にあるものの表現や “ On ” “ In ” “ Under ” の表現を使って、蝶ばかりでなく鳥やクモなどのマグネットを使って活動に挑戦している。
“ Where is a butterfly ? ” Game の活動の仕方を知り、ゲームを通して表現を使って楽しむ。	(20)	活動の仕方を提示する。 A は B に分らないようにして、自分の教室の絵に蝶のマグネットをおく。 A : Where is a butterfly ? B は自分の教室の絵を見て、蝶の居場所を予想して答える。 B : It's on the blackboard. A : No, sorry. ... (違う場合は、繰り返す) B : It's under the chair. A : That's right.	活動の仕方を提示する。 * 指示役がハンドサインをしながら “ On, on, ~ ” と指示する 児童役は、指示役に “ On,on, ” まで合わせ、最後の指示は自分の判断で行う。 指示役と最後のハンドサインが一致したら、OUT。 * 最後のハンドサインから、次のゲームを再開する。 * OUT になった児童は、着席して活動を続ける。 * 活動を繰り返し行うことを通して、ルールをとらえられるようにする。 * 楽しい雰囲気で作作化を楽しみながら、「 On 」「 In 」「 Under 」をとらえられるようにする。。	
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALT と HRT がそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		

[Aim] 10 教科の英語表現を知り、友達の好きな教科を調べるという設定で “ Do you like ~ ? ” の表現を繰り返し使うことを通して表現に慣れ友達との交流を楽しむ。

[Preparation] 学習カード (提示用拡大版・児童活動用) 児童各自 : 鉛筆、クリップボード

主な学習活動	時間	指導上の留意点		評価項目
		H R T	A L T	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity 活動の提示を見て本時の活動を知り、教科の表現を知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> Japanese, Art, Social Studies, Mathematics, Science, P.E, Music, Morality Home Making, English </div>	35 (15)	活動の提示をする。(BC 役) A : Excuse me. I like music. Do you like music? B : Yes, (I do). A : Thank you. Sign, please. Excuse me. I like P.E. Do you like P.E? C : No, (I don't). I like math. A : Thank you. Sign, please.	活動の提示をする。(A 役)	[聞くこと] 教科名をイメージしながら、英語の方言を聞いている。 進んで絵カードを指し示すなどして、具体物と対応させながら聞いている。
学習カードへの記入の手順を知り、活動を通して表現に慣れ、友達との交流を楽しむ。	(20)	説明に合わせて、拡大プリントを指し示す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> (1) 10 種類の教科から好きな 2 教科を選択し、学習カードの番号に印を付ける。 (2) で紹介された既習表現を用いて、友達と交流する。 (3) 時間の許す限り、多くの友達と交流するよう促す。 (4) インタビューの結果、人気のある教科を互いに知らせ合う。 (5) 交流した回数から、活動の自己評価をする。 </div> * 児童から質問を受け、ALT が簡単な英語で答える。 児童とともに活動し、表現に自信のない児童の支援に努めるようにする。	簡単な英語で、手順を説明する。 児童とともに活動し、自然な英語を数多く聞かせるようにする。 * 学習カードへの記入が行えているか確認する。 * 結果の報告や自己評価は全体で行うようにする。	[話すこと] 手順に従って、教科調べの活動をしている。 分からない時は質問したり、手順に従ってたくさんの友達と交流したりして進んで活動している。
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。児童の活動のよかった点について、ALT と HRT がそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		

【 In School 】 第 4 時 / 4 週計画

[Aim] 教室名の表現を知り、校内をお客様に紹介して歩くという設定で、既習表現を用いながら活動し、教室の名称に慣れる。

[Preparation] 校舎平面図、案内者用の旗

主な学習活動	時間	指 導 上 の 留 意 点		評価項目
		H R T	A L T	
Greeting Song	5	笑顔で児童を迎え、一人一人の児童の目を見て既習表現を使ってあいさつを交わし、緊張感を解きほぐすようにする。		
Main Activity 活動の提示を見て本時の活動を考え、教室の名称を知る。	35 (15)	活動を提示する。(お客役)	活動を提示する。(案内役)	<p>[聞くこと] 教室の機能などを思い浮かべながら、表現を聞く。</p> <p>表現を聞いて、教室の絵カードを指し示し、進んで応じている。</p> <p>[話すこと] 教室の案内係として、"let's go"や"This is a ~"を使用しながら表現している。</p> <p>教室の案内係として、既習表現を使用したり、質問して分かった表現を使用したりして活動している。</p>
実際に校舎内を歩きながら活動し、表現に慣れる。	(20)	<p>(校舎平面図を使って、模擬的に)</p> <p>A : Welcome to my school. I'm going to show my school. Let's go.</p> <p>A : This is the Nurse's office. And let's go to the next room. Let's go up the floor. This is the library. In this room, our students read books every day.</p> <p>B : Thank you. I like reading a book. (教室の紹介を続ける)</p> <p><教室の名称> Nurse's office, Gym, Teacher's room, Library, Music room, Kitchen, Rest room, Science room, Radio Studio, Print room</p> <p>* 活動の提示内容がとらえられるまで、同じ提示を繰り返し行ったり、児童にとって分かりやすい教室名を用いて提示したりする。</p> <p>* 教室の名称を示す絵カードは、自校の教室の写真に英語表現を加えて作成したものを使用すると、児童が英語の音を身近に感じ、とらえやすい。</p> <p>* 既習表現の " go forward " , " turn left " , " turn right " などの表現は、意識して使ってみよう促す。</p> <p>* 2グループを編成し、1グループずつ担当する。</p> <p>* 教室名を忘れたり、教室の説明で表現したいことなど分からないことは、進んで質問するよう促す。</p> <p>* 一つの教室の案内が終わったら、案内係を交替する。この活動を繰り返し行うことを通して、校舎を一周し、活動を終了する。</p>		
Greeting Song	5	児童の感想を笑顔で聞くようにする。 児童の活動のよかった点について、ALT と HRT がそれぞれに賞賛し、次時への活動の意欲を喚起するようにする。		